

にいがた 畜産協会たより

公益社団法人
新潟県畜産協会

新潟市西区山田字堤付2310-15
全農にいがた第2ビル内
TEL. 025-234-6781
~6783



全国発表会で農林水産大臣賞を受賞した近藤畜産（次男夫婦）



県表彰で優秀賞を受賞した 中島 正人氏

目次

- ◆ 年頭のご挨拶 会長 今井 長司 …… (2)
- ◆ 全国優良畜産経営管理技術発表会で最優秀賞（農林水産大臣賞）受賞 …… (3)
- ◆ 畜産経営セミナーを開催、優秀畜産表彰事例の紹介 …… (4)
- ◆ 第19回協同組合まつりに出展しました。… (5)
- ◆ にいがた和牛のPR活動を実施 …… (5)
- ◆ みんなで衛って、病原体の侵入を防ぎましょう!! …… (6)
- ◆ 声のコーナー …… (7)
「同じ年代の仲間が増えてほしい！」
肉用牛経営：佐渡市戸地 野崎 健司
「これから」
養豚経営：新潟市南区高井東 小嶋 遼子
- ◆ 畜産安心ブランド生産農場だより …… (8)
胎内市：緒形農場 緒形 正芳
- ◆ 畜産共進会等への褒賞授与 …… (8)
- ◆ 編集後記 …… (8)



年頭のご挨拶



公益社団法人新潟県畜産協会

会長 今井長司

明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平成30年の年頭あたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は、欧州連合（E U）との経済連携協定（E P A）交渉妥結や米国が離脱した11か国による環太平洋経済連携協定（T P P）大筋合意など、自由貿易の潮流が一段と鮮明になった年でありました。政府においては、平成29年度補正予算で日欧E P A対策を踏まえた総合的なT P P等関連政策大綱により生産者支援を講じると報じられておりますが、後継者の確保困難などを理由に廃業が進む畜産経営においては、一層厳しい環境に晒された感があります。

このような中、豚枝肉価格は平成28年を上回る堅調な価格での取引が継続し、牛枝肉価格も下位等級がやや下げ基調ではあったものの「にいがた和牛」などは堅調な取引が続いております。

県産畜産物が輸入や県外産の畜産物との競争に打ち勝ち、県民の皆様の一層の支持を得るためには、安全・安心の更なる確保が求められます。

本県の畜産経営は、この数年来、経営者の世代交代が進みつつあり、若い経営者が増えていますし、6次産業化などにおいては、女

性が活躍する畜産経営も見られます。

更には、協会たよりで幾度となく紹介させていただいておりますが、平成27年から畜種を問わず、地域の垣根を越えて活動しております畜産女性の集まりが「にいがた畜産女子会」として組織化されました。畜産に携わる仲間の輪を広げながら、女性の視点での経営参画や6次産業化への新たな挑戦に期待するものであります。

また、平成29年度全国優良畜産経営管理技術発表会においては新潟市北区の近藤畜産（養豚）が最優秀賞の農林水産大臣賞に輝きましたし、5年ごとに開催される全国和牛能力共進会（宮城大会）審査競技会の女性の部においては、阿部恵梨さん（長岡市）が最優秀賞を、後継者の部においては小澤成美さん（南魚沼市）が優秀賞を受賞するなど、本県の畜産において明るい話題を提供していただきました。

畜産協会としましても、このような経営者の方々と共に、県民の皆様が安心して食べられる安全な畜産物の供給に引き続き努めて参る所存であります。

最後になりますが、平成30年が皆様にとって希望に満ちた明るい年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

全国優良畜産経営管理技術発表会で最優秀賞（農林水産大臣賞）受賞

新潟市北区：近藤畜産（養豚経営）

発表会の概要

平成29年11月30日、公益社団法人中央畜産会が主催する平成29年度全国優良畜産経営管理技術発表会が東京都港区で開催され、本県の近藤畜産（新潟市北区・養豚経営）が最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞しました。

全国の畜産協会等から推薦された事例のうち、8事例が当日の発表会に選考され、各経営から特徴ある取り組みの発表があり、近藤畜産は後継者である次男の近藤武志さんが発表、妻の香澄さんが同席しました。

今年度は特に若手後継者の活躍、自給飼料生産、6次産業化への取り組み、地域への貢献、女性の参画など、個性豊かで高レベルな事例が多い発表会となり、このうち4事例が最優秀賞を受賞し、来年度開催される第57回農林水産祭へ推薦されることとなりました。



受賞者の記念撮影

近藤畜産の経営概況

近藤畜産は、代表の近藤武雄さんが中心となり、妻、長男及び次男夫婦が養豚業、三男夫婦が精肉加工・販売に従事、次女が自家産の豚肉を材料とした料理を提供するカフェレストランのオーナーシェフを担っており、生産から加工・販売・消費に至るまで家族が各々役割を担って経営を展開しています。

県家畜保健衛生所の指導を受けて飼養技術が大きく改善しており、エコフィードや飼料用米の利用、アニマルウェルフェアの考えを踏まえた飼養管理など、昨年度当協会が主催した優秀畜産表彰で優秀賞を受賞されたことから、全国発表会に推薦するに至りました。



発表する次男の近藤武志氏

評価のポイント

近藤畜産の取り組みは、中央審査委員会において主に6つのポイントが評価され、最優秀賞の受賞となりました。

- ① 家畜保健衛生所の指導により、平成25年からP2点背脂肪厚測定を実施し、適正母豚の割合が28%から60%に向上
- ② エコフィードの利用、飼料用米は2回粉碎して消化吸収を促すよう工夫
- ③ 豚舎を広々と利用し、余裕ある飼養形式を実施
- ④ 畜産安心ブランド生産農場に認定され、安全安心な畜産物生産を実施
- ⑤ 豚肉を商標登録、「甘豚」としてブランド化し加工販売を実施、レストランは特に女性に人気
- ⑥ 平成29年に発足した「にいがた畜産女子会」に次女、次男の妻の2名がメンバーとして参画



近藤武志さん・香澄さん夫妻

畜産経営セミナーを開催

平成29年10月27日、JA全農にいがた県本部大会議室において、優秀な事例から経営管理技術を学ぶことを目的として畜産経営セミナーを開催し、58名の参加がありました。

講師には平成28年度全国優良畜産経営管理技術発表会で最優秀賞（農林水産大臣賞）を受賞された有限会社高秀牧場代表取締役の高橋憲二さん（千葉県いすみ市）をお迎えし、「中山間地域における国産飼料資源での自給率向上への挑戦～地域農業とともに歩む循環型酪農と6次産業化の中で～」と題した講演をしていただきました。

講演では、ご自身が取組んできた耕畜連携の仕組みづくりや水田をフル活用した粗飼料生産、飼料用米の活用、酪農に対する消費者への理解醸成活動（酪農体験・イベント・牧場情報発信等）、後継者の育成や6次産業化の取り組みなど、幅広い活動内容をたくさんの写真を用いて分かりやすく紹介されました。

特に、地域の酪農家5戸でコントラクター組織を立ち上げて法人化し、稲作組織との連携により稲WCS生産やイタリアンライグラスの二毛作、飼料用米の利用に取り組み、粗飼料自給率100%、飼料全体の自給率では75%を実現しています。また、生協組合員を中心とした消費者の牧場見学・意見交換等を通じて酪農理解に努め、積極的な経営展開を図っています。



講演する高橋憲二さん

優秀畜産表彰事業「優秀賞」事例の紹介

平成29年10月27日、畜産経営セミナーの一環として、優れた経営実績を上げている畜産経営体等を発掘して表彰するとともに、その技術や経営手法等を広く県内に紹介して普及浸透を図ることを目的として優秀畜産表彰を開催し、中島正人さん（津南町・養豚経営）が優秀賞を受賞されました。

養豚部門は母豚56頭と小規模ながら、稲作8ha、スイートコーン4ha、水稲の作業受託が10ha、合計22haの耕種部門を本人と妻、義父の家族3人で取り組み、養豚を核とした複合営農を展開しております。

養豚部門では平成23年に導入した「くみあい養豚管理システム（PICS）」を活用して個体管理を重視しながら繁殖成績の向上に成果を上げ、併せて複合営農の労力配分の改善に結びつけておりました。

また、魚沼コシヒカリの生産地でもある当該地域においては、大切な組織である「水稲の種もみ採種組合」のメンバーとしても活躍しており、加えて、地域の学校水田の稲作指導などにも積極的に携わるなど、様々な面において、地域の担い手として頑張っています。

大規模な複合営農で多忙を極めているにもかかわらず、将来的には新たな豚舎による規模拡大、法人化等も検討し、更なる経営発展が期待されるとともに、豪雪高冷地の営農の姿として極めて参考となることから、選考委員による選考会で受賞が決定されました。



優秀畜産表彰受賞者 中島正人さん

第19回協同組合まつりに出展しました

～魅力・元気いっぱい!! 新潟の“ちくさん”～

「第19回協同組合まつり」(主催:新潟県協同組合間提携推進協議会〔事務局:県農業協同組合中央会])が平成29年10月22日(日)に新潟市中央区の「新潟市産業振興センター」において開催されました。

消費者の皆様へ畜産に対する理解を深めていただき県産畜産物の消費の拡大を図ることを目的に10年ぶりに参加(出展)しました。

当日は、衆議院議員選挙と重なり、また台風の襲来も受けましたが、7千人近くのお客様で活況に満ちたイベントとなりました。

参加した当協会のスタッフは、消費者の方々と触れ合いができ、既に来年の出展に向け企画立案を開始したところです。

○ 出展内容

県産畜産物の安全・安心の取組み「畜産安心ブランド生産農場」の認定制度を消費者にPR

当協会ブースに安心ブランドの「ノボリ」「パネル」を設置、併せて安心ブランドの仕組みを紹介するため「チラシ」「ポケットティッシュ」「花のタネ」のセット、1,000個が大変好評で瞬く間になくなりました。

9月に誕生したの「にいがた畜産女子会」メンバーが手掛ける6次産業化商品の紹介とジェラート・ソフトクリームを試食提供

阿賀野市の「神田酪農」のアイスを午前と午後の合計500名に試食の提供を行いました。

大変な盛況で配布前に長蛇の列となりましたが、女子会のメンバーが手際よく配布し、無事希望者に配ることが出来ました。

女子会は、組織の立ち上げと自らの活動をチラシにまとめ、積極的にPRしました。



畜産女子会メンバーの活躍により、大勢のお客様一人一人に試食アイスを配布

「にいがた和牛」のPR活動を実施

～にいがた和牛推進協議会でイベント参加～

にいがた和牛推進協議会では、にいがた和牛の消費拡大を図るため、昨年秋に2つのイベントに参加したので紹介します。

1 ふれあい畜産フェスタ2017

10月14日(土)に恒例のふれあい畜産フェスタが新潟市西区の「新潟ふるさと村」において開催されました。

新潟県畜産振興協議会が主催し、年に一度、畜産関係機関及び団体が力を合わせ、消費者に畜産の理解促進と畜産物の消費拡大を目的として開催しているイベントで、当協議会は(株)タカノの協力を得て「にいがた和牛」精肉の販売とプレゼント抽選会を行いました。

当日は、曇りの天候でしたが8,315人が来場し、用意した「にいがた和牛」の精肉パックは閉店前に完売となる盛況ぶりでした。



にいがた和牛精肉販売・プレゼント抽選会ブース

2 第19回協同組合まつり

第19回協同組合まつりへの新潟県畜産協会の出展と共に、当協議会も全農新潟県本部ブースの「にいがた和牛」販売コーナーの隣で「にいがた和牛」焼肉の試食提供及びアンケート調査を行いました。

アンケートでは「にいがた和牛」を食べたことのない人が5割近くおり、特に30～40歳代の子育て世代で高い結果となりました。

試食提供では家族連れを中心に多くの方々に「にいがた和牛」の美味しさ知ってもらうことができました。



にいがた和牛精肉販売・試食コーナー

みんなで衛って、病原体の侵入を防ぎましょう!!

～ 口蹄疫防疫演習を県内3か所で開催、県内PRRS清浄化養豚講演会も開催～

—— 平成29年度衛生指導課事業進捗状況 ——

県内3か所で口蹄疫を想定した防疫演習開催 (自衛防疫体制強化推進事業)

平成25年度から県内各地で生産者を対象とした「口蹄疫防疫演習」を実施してきました。今年度は、新潟市食肉センター（7月21日、参加者47名）、十日町地域振興局（11月1日、参加者40名）、JA北魚沼本店（11月8日、参加者30名）の3か所で開催し、年々、参加者が増加しています。

食肉センターでの実施は初めてでしたが、新潟市食肉センターが作成した「口蹄疫を想定した防疫演習実施工程表」シナリオに基づき、実際に出荷した豚に異常が認められたとの想定で、家畜保健衛生所への連絡に始まり、採材や消毒までの全ての行程について実演が行われ、実施後はそれぞれの部門での改善検討会において、実際に即した防疫マニュアルが作成されました。

海外悪性伝染病はいつ侵入してもおかしくない状況です。来年度も「万が一」に備えての防疫演習等を実施する予定です。



新潟市食肉センター出入り口での消毒の徹底



新潟市食肉センター豚係留所での異常豚の発見と新潟県中央家畜保健衛生所防疫員の採材

PRRS清浄化養豚講演会開催 (地域豚疾病緊急対策推進事業)

新規事業である新潟県事業の「養豚農場PRRS撲滅対策事業」はワクチンを用いてPRRSを清浄化しようとする国内では初めての事業ですが、今年度分の前期事業が終了し、15農場16,092頭にワクチン接種が行われました。また、(公社)中央畜産会委託事業である「地域豚疾病緊急対策推進事業」でPRRS清浄化養豚講演会を開催し、スワインエクステンション&コンサルティングの大竹聡先生から「PRRS清浄化に向けて」と題して講演を、下越家畜保健衛生所企画指導課村山副参事から県内のPRRSの浸潤状況と「養豚農場PRRS清浄化支援事業」の説明を受けました。講演会参加者は生産者が多く、定例の講演会を要望するなど意欲と意識の高さがうかがわれました。



講師の大竹聡先生（左）と村山修吾先生（右）

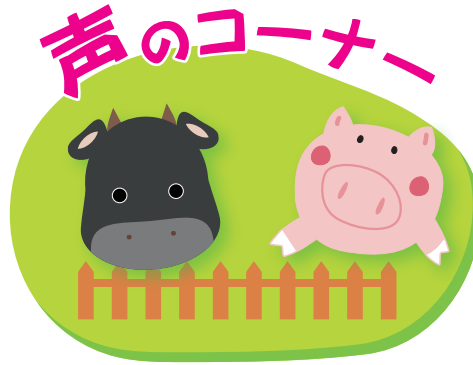
畜産安心ブランド認証式・交流会のお知らせ

と き：平成30年2月21日（水）午後1時30分から
と ころ：全農にいがた県本部ビル大会議室
内 容：畜産安心ブランド生産農場認証式
交流会：「安全・安心な畜産物を提供するための生産現場での取組と今後の展望について」
講演1：「農場HACCPとJGAP認証について」
 (公社)中央畜産会衛生指導部長 守永 美夫 様
講演2：「新潟県で初めて取得した農場HACCP認証農場として」 新発田市めおとファーム 斎藤 栄毅 様
申 込：当協会まで電話で 参加費：無料です



肉用牛経営

佐渡市戸地
野崎 健司



養豚経営

新潟市南区高井東
小嶋 遼子



『同じ年代の仲間が増えてほしい!』

最近をよく、想像や妄想なんかをしながら仕事をしている時があります。

今あるものよりも大きい牛舎、広い放牧場、そして多くの牛たち、現実的に具体的に何をどうするなんてことはわからないですし、考える知識もまだあるわけではないのでとにかく、楽しいこと、夢があることを想いながら仕事をしてみると自然と作業もはかどるものです。

私は去年の秋ごろから、新規就農という形で和牛繁殖農家として佐渡の農業に携わっています。正直、農業学校にも通っていない、専門的な知識もなかった私にとってはこのようなことは大きな博打のように自分自身感じています。当然のように、様々なことに四苦八苦の毎日です。しかし両親からの支援、地域の人からの理解、近くの同じ牛農家さんの協力のおかげで環境面をみれば実は私はとても恵まれている状況なのでしょう。

日々、周りから大切なものを取り入れていけるように頑張っています。

先ほどいったように、牛農家を始めたばかりの私が皆さんに何を伝えられるか考えたのですが、私自身が知識のない状態から始めて、どう感じたのか話そうと思います。

農家は毎日休日なしに働かなくてはならないイメージがあると思います。確かにそうなのですが自分の時間がないわけではありません。私は前からバスケットをしていて、牛を飼い始めた今でも1日の終わりに週3回ほど体を動かすに行っています。それに騒がしさとは無縁の静かな場所での仕事なので日頃、好きな音楽やラジオなどを聞きながら仕事ができるのでストレスも感じませんのでやっていて楽しい仕事だと思います。最近私のように若い人が、あまり農家の仕事にかかわらないのは、「毎日が仕事で休みがない。」と思われているのが要因の一つかなと思います。ですからもっと多くの人にこの仕事の楽しさが伝わればいいなと感じました。

最後になりますが、私自身の勝手な思いですが同世代の農家が増えて、月に一回や二回同じ目線、同じ感覚でみんな農業というものを語らってみたいです。これは想像や妄想では終わらせず、現実のことにしたいですね。そのために、私自身が何か惹かれるような農家になってみたいです。

『これから』

実家が養豚業を営む主人と結婚して三年が経ちました。お付き合いをしていた頃は、歯科衛生士として働いていました。当時は、主人の実家の事は何も考えていませんでしたが、お肉大好きな私は、美味しいお肉を食べさせて貰ったり、料理好きだった事もあり、豚肉料理を作ったりして、主人の仕事、養豚の事、会社の事にも自然と興味を持つ様になりました。

主人の父が経営する(有)キープクリーンは少し特殊で、主体は養豚業ですが、廃棄物収集運搬業も行っています。そして、二年前、自分達が生産した美味しいお肉を直接消費者へ届けたいという思いから、小規模ではありますが精肉加工場を設け、スライス、パックしJA直売所で販売、市内レストランなどへ配達をしています。

私自身はというと、三歳になる双子男子の育児奮闘中で、バタバタの毎日でしたが、今年度から入園し、時間を確保できた事もあり少しですが義母の事務の手伝いをしています。また、イベントでの販売も主人と参加する様になり、始めは販売などした事も無かったのでドキドキでしたが、「美味しい」と声をかけて頂ける事に喜びを感じています。

そして、これからですが、主人や従業員の皆が、大切に育てた豚肉を、多くの人に知ってもらい、美味しく食べて頂けるには何ができるか考え、実践していきたいです。まだまだ義父、母に頼る事ばかりですが、これから代替わりしていく主人をサポートできる様に自分自身成長していきたいです。

また、にいがた畜産女子会のメンバーにも加えて頂き、同じ様な立場でありながら様々な活躍をなさっている先輩方のお話に刺激を受けました。交流会など積極的に参加し、これからの生かしたいです。

畜産安心ブランド生産農場だより

胎内市：緒形農場 緒形 正芳

緒形農場は現在、私と妻、従業員2名で乳牛95頭の搾乳を行う酪農場です。平成27年に畜産安心ブランド生産農場の認定を受けました。

父親が酪農をしていましたが、私は高校卒業後しばらく他業種に就いていました。その後酪農に気持ちが向いて就農しました。最初は知らないことばかりで、他の酪農業の先輩の知識量に圧倒されました。そこで奮起し、父親と一緒に各地の農場を見せてもらい勉強をしました。また、自農場の繁殖や乳房炎などのデータをグラフにすることで自農場の状態の把握に努め、徐々に改善することができました。

安心ブランドの認定については、農場の皆が誰でも同じように乳生産に取り組めるよう技術向上を続けた結果、乳質に自信を持てるようになったことから認定を申し込みました。現在も従業員を含めて年3～4回の勉強会を行っています。技術改善により生産成績が上がると、日々の作業もスムーズに感じられます。従業員は酪農未経験であったので、最初は苦労していたと思います。しかし、勉強して技術を習得してくれたので、今では安心して任せることができ、農場の主戦力になっています。妻も畜産女子会に入るなど、忙しいながらも新鮮な毎日です。それぞれが改善を考える事によって、楽しく安全・安心な乳生産に取り組むたいと考えています。



緒形さん夫婦（中二人）と従業員のみなさん

畜産共進会等への褒賞授与

当協会では、本県の畜産振興に寄与するため、主に県下一円又は市町村の範囲以上を参加地域とする畜産共進会等において、優れた成績を取めた方に対し、賞状及び副賞を交付しております。

平成29年6月から12月までに11ヶ所の共進会等で交付いたしました。結果は下記のとおりです。

賞状及び副賞を交付した共進会等

(開催日順、敬称略)

行事名	主催者	賞名	受賞者名	住所
第43回全佐渡ブラックアンドホワイトショウ	佐渡ホルスタイン改良同志会	経産チャンピオン	金子 知樹	佐渡市
第40回津南町肉豚枝肉共励会	津南町養豚組合	最優秀賞	涌井 好一	中魚沼郡津南町
第24回JA佐渡和牛共進会	佐渡農業協同組合	優等賞(未經産牛)	岡崎 敦	佐渡市
		優等賞(経産牛)	梶井 正弘	佐渡市
第4回JA胎内市肉牛枝肉研究会	胎内市農業協同組合	最優秀賞	野倉 茂樹	胎内市
第17回十日町農業協同組合、十日町農業協同組合養豚支部会	十日町農業協同組合、十日町農業協同組合養豚支部会	最優秀賞	平野 清志	十日町市
		優秀賞	(有)澤口養豚場	十日町市
平成29年度新潟県子牛共進会	全国農業協同組合連合会新潟県本部	最優秀賞	阿部 吉克	長岡市
第62回新潟県肥育牛求評共励会	全国農業協同組合連合会新潟県本部	最優秀賞	坂上 隆夫	胎内市
		優秀賞1席	関 克史	長岡市
		優秀賞2席	菅原 宏子	村上市
第27回肉用牛共進会	新潟県家畜商協同組合	優秀賞第一席和牛の部	猪股 一直	新発田市
		優秀賞第二席和牛の部	(株)三 国	長岡市
第46回中之島地域畜産共進会	中之島地域畜産振興協議会	最優秀賞	田口 正一	長岡市
くびき肉牛枝肉研究会	えちご上越農業協同組合肉用牛部会	最優秀賞	荻谷 耕治	上越市
三JA合同肉牛枝肉勉強会	北越後農協繁殖肉牛専門部会	ベスト枝肉賞	五十嵐正平	新発田市

編集後記



新年おめでとうございます。お正月にはいい初夢をみることができたでしょうか。本年最初の「にいがた畜産協会だより」は昨年、優秀経営として表彰された事例や秋に実施した消費拡大イベント等について紹介しました。

特に、(公社)中央畜産会主催の全国優良畜産経営管理技術発表会において、当協会が推薦した新潟市北区の近藤畜産(養豚経営)が見事に最優秀賞(農林水産大臣賞)を獲得しました。本県からは3人目となる受賞で6年振りとなる快挙でした。家族全員が協力して、短期間で経営改善を図り、6次産業化にも取り組んで成果を上げている点が評価されたものです。

本年も近藤畜産に続く畜産経営が育つよう、当協会職員一同、様々な業務を通じて畜産経営の支援に努めますので、よろしく願いいたします。佐藤(栄)記